

NIKKOR

NIKKOR Z 24-50mm f/4-6.3

Jp 使用説明書

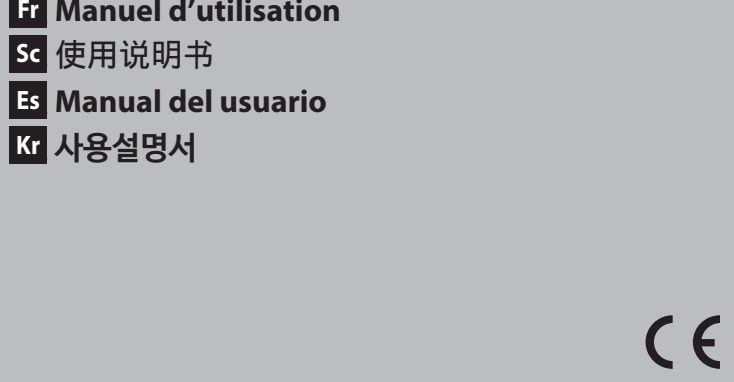
En User's Manual

Fr Manuel d'utilisation

Sc 使用说明书

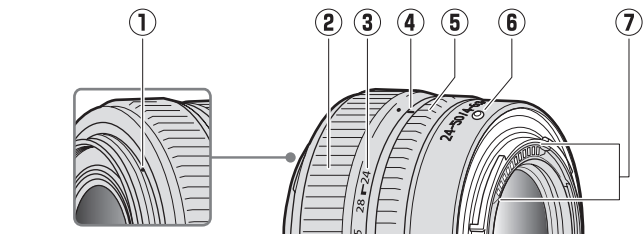
Es Manual del usuario

Kr 사용설명서



Printed in Japan
C70C01(64)
7MMA4464-01 △

NIKON CORPORATION



レンズの使い方

各部の名称と機能

左図で示されている各部の名称と機能は以下の通りです。

図	名称	機能	詳しくは
1	レンズフード着脱指	レンズにレンズフードを取り付けるときにこのリングを回転させるとズームリングができます。	詳しくは ➡
2	ズームリング	このリングを回転させるとズームリングができます。 ・撮影時にレンズを緩らしてください。	詳しくは ➡
3	焦点距離目盛	ズームリングの焦点距離の目安として使用します。	—
4	焦点距離目盛指標	オートフォーカス時このリングを回転させると、「フォーカス (M/A)」や「絞り」などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記述されている「 カスタムボタンの機能 」または「 カスタムボタンの機能 (撮影) 」の説明をご覧ください。	—
5	コントロールリング	マニュアルフォーカス時このリングを回転させると手動でピント合わせができます。	—
6	レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときに指標です。	詳しくは ➡
7	CPU 番号接点	カメラとレンズの間に情報を伝達します。	—
8	レンズフード*着脱指標	画像に影影響を及ぼす光線をカットします。レンズ部の保護にも役立ちます。	—
9	レンズフードセット指標	レンズにレンズフードを取り付けるときに指標です。	詳しくは ➡
10	レンズフード取り外し指標	—	—
11	レンズキャップ (フロントキャップ)	—	—
12	レンズキャップ (リアキャップ)	—	—

* レンズフードは別売です。

4 カメラへの取り付け方・取り外し方

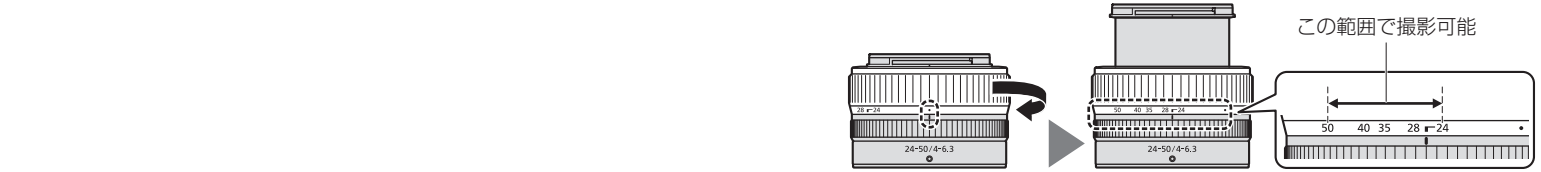
- カメラの電源を OFF にして、レンズのリアキャップとカメラのボディキャップを外す
- カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチと音がするまでレンズを回す

取り外し方

- カメラの電源を OFF にする
- レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

6 撮影前の準備

このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が 24-50 の範囲内のみ撮影できます。



- レンズを収納するときは、レンズを繰り出すとズームリングを回してください
- レンズを繰り出す時に電源を ON にすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときレンズを繰り出してください。

Jp 使用説明書

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの説明書もご覧ください。
・このレンズは、ニコニ Z マウントのミラーレスカメラ専用です。

安全上のご注意

あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

- 警告** 「死にまたは重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「怪我を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分します。

- ⚠ は、**してはいけない内容**です。
- ⚠ は、**実行しなければならない内容**です。

警告

- 分解 禁止** 分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。

- 1 実行 禁止** 危険な物、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。

- 2 禁止** 濡れた手で触らない
感電や発火の原因になります。

- 3 禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない
乾燥剤など、内部部品に接触するおそれがあるものは取り除く
感電や発火の原因になります。

- 4 禁止** レンズで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害の原因になります。

- 5 禁止** 幼少の手の届くところに置かない
感電や発火の原因になります。

- 6 禁止** 高温環境や低温環境では、直接触れない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

注意

- レンズを太陽や強い光を直射しない
感電や発火の原因になることがあります。

- 7 禁止** 画像に影響を及ぼす光線をカットしない
画像から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

- 8 禁止** 乾燥剤や直射日光の当たる所など高温環境に設置しない
故障や発火の原因になります。

- 9 禁止** 破損などにカメラやレンズを取り付けたま移動しない
故障や発火の原因になります。

各部の名称と機能

左図で示されている各部の名称と機能は以下の通りです。

図	名称	機能	詳しくは
1	レンズフード着脱指	レンズにレンズフードを取り付けるときにこのリングを回転させるとズームリングができます。	詳しくは ➡
2	ズームリング	このリングを回転させるとズームリングができます。 ・撮影時にレンズを緩らしてください。	詳しくは ➡
3	焦点距離目盛	ズームリングの焦点距離の目安として使用します。	—
4	焦点距離目盛指標	オートフォーカス時このリングを回転させると、「フォーカス (M/A)」や「絞り」などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記述されている「 カスタムボタンの機能 」または「 カスタムボタンの機能 (撮影) 」の説明をご覧ください。	—
5	コントロールリング	マニュアルフォーカス時このリングを回転させると手動でピント合わせができます。	—
6	レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときに指標です。	詳しくは ➡
7	CPU 番号接点	カメラとレンズの間に情報を伝達します。	—
8	レンズフード*着脱指標	画像に影響を及ぼす光線をカットします。レンズ部の保護にも役立ちます。	—
9	レンズフードセット指標	レンズにレンズフードを取り付けるときに指標です。	詳しくは ➡
10	レンズフード取り外し指標	—	—
11	レンズキャップ (フロントキャップ)	—	—
12	レンズキャップ (リアキャップ)	—	—

* レンズフードは別売です。

4 カメラへの取り付け方・取り外し方

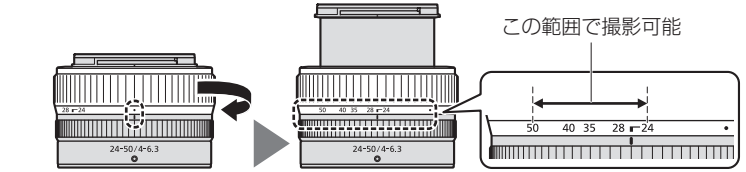
- カメラの電源を OFF にして、レンズのリアキャップとカメラのボディキャップを外す
- カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチと音がするまでレンズを回す

取り外し方

- カメラの電源を OFF にする
- レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

6 撮影前の準備

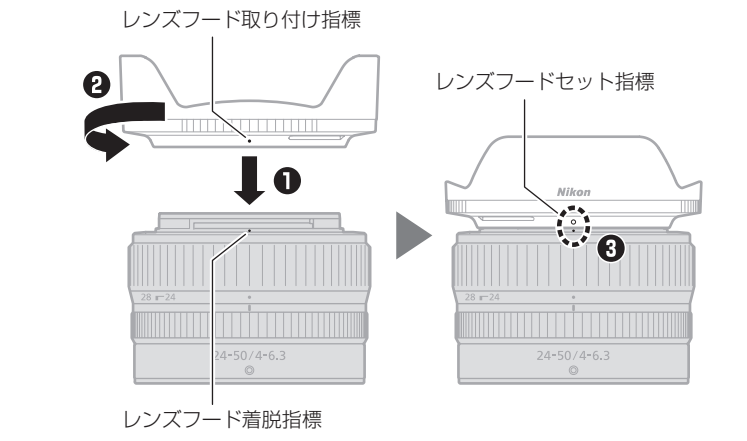
このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が 24-50 の範囲内のみ撮影できます。



- レンズを収納するときは、レンズを繰り出すとズームリングを回してください
- レンズを繰り出す時に電源を ON にすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときレンズを繰り出してください。

9 レンズフードの取り付け方・取り外し方

- レンズフード着脱指標とレンズフード取り外し指標を合わせて、**1**、レンズフードを矢印 **1** の方向に回転させ、レンズフード着脱指標とレンズフードセット指標を合わせてください **2**。



- レンズフード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、レンズフード取り外し指標 **1** を付帯を持って回転させてください。
- 取り外しは、取り付けた逆の手順で行ってください。
- 取外時はレンズフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

10 内蔵フラッシュ搭載のカメラでフラッシュ撮影するときのご注意

内蔵フラッシュの光の反射やレンズフードでさえぎられると画像に影が写り込みます。レンズフードは取り外して撮影してください。

11 カメラにレンズを取り付けたときのご注意

ピント合わせを行った後に、カメラの電源を OFF にして再び ON にするとピント位置が変わることがあります。ピントをあらかじめ合わせておいて被写体を持つ位置でピント撮影などは、ピントを合わせてからシャッターを押すまでにカメラの電源を OFF にしないことをおすすします。

2 取り扱い上のご注意

- レンズフードをレンズに装着した状態では、レンズフードは持たないでください。
- CPU 番号接点には、液体はかけないようにご注意ください。
- レンズをカメラに装着していませんとは、必ずレンズキャップを取り付けてください。
- レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。

- レンズを水にぬらしたり、湿気の多い場所に置かないでください。感電がサビくなどし故障の原因になりますのでご注意ください。

- 火の近くなど、極端に温度が高くなるような場所には置かないでください。外観の一部に使用している樹脂が変形することがあります。

- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の湿度になじませてからお使いください。

- レンズを傷から守るために、持ち運ぶときはレンズケースに入れることをおすすします。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

2 取り扱い上のご注意

- レンズ面を清掃する場合、適当ほこりや糸を払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油がこぼれついたりしたときは、少量の無アルコール (エタノール) の市販のレンズクリーナーで薄めた柔らかい布または有電のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ薄く均等に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐために、別売のニートラルカラー NC コイルなどのご使用をおすすします。
- レンズを長期保管しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

サービとサポート

修理サービスのご案内

■ インターネットでの申し込み

下記ホームページから修理センターで承ります。下記のホームページからお問い合わせいただけます。
<https://www.nikon-image.com/support/repair/>

・ニコニピックアップサービスで発送する場合
組合員からのお問い合わせ・修理後のお返し取り、修理後のお届け・現金までをニコニ指定の配達業者 (ヤマト運輸) が一括して対応するサービスです。全国一律の料金をご承知ください。 (大きなサイズには限りがあり、取り扱えない製品もあります。)

・**2 自分で発送する場合**
インターネットでお申し込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修理センターまで発送してください。

株式会社ニコニイメージングジャパン修理センター
〒230-0052 横浜市磯子区生妻 2-2-26 修理センターナビダイヤル 0570-02-8200

修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご送附の方の受付はしていません。

■ **お電話でのお申込み**
お電話での申込みの場合は、ニコニ

